

課長	係長	精算	設計	浄書
----	----	----	----	----

令和 3 年度

金抜設計書

市道住吉7号線薄層カラー舗装工事 設計書

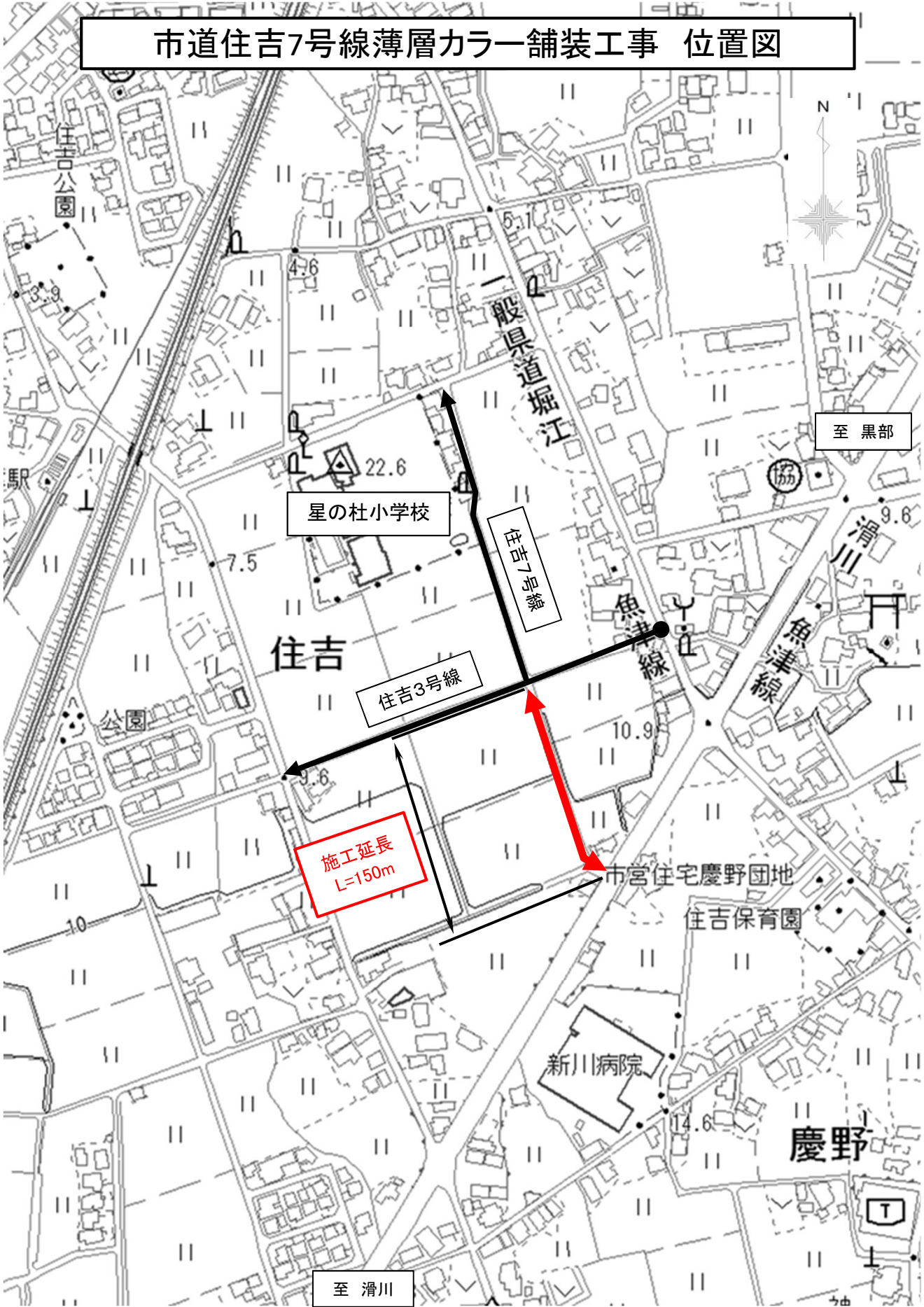
施工箇所 魚津市 住 吉 地内

工事番号

3018

魚津市産業建設部建設課

市道住吉7号線薄層カラー舗装工事 位置図



特記仕様書

市道住吉7号線薄層カラー舗装工事

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書（富山県土木部）令和2年10月改訂」第1編共通編1-1-1-2第6項に基づき、当該工事に必要な事項について定めるものとする。

第2条 安全管理

工事期間中は、安全管理要員を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

第3条 安全教育・訓練の実施

- 1 労働安全衛生法に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、「安全教育・訓練等の実施要領（富山県土木部）平成25年8月一部改訂（以下「要領」という。）」により毎月1回（半日）以上の頻度で実施するものとする。
- 2 実施項目について共通仕様書の施工計画書の記載事項として「（9）安全管理」に含め、要領の様式-1により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。
- 3 安全・訓練等の実施については、要領の様式-2により安全教育・訓練の実施毎に写真等に撮影し、監督員及び検査員の請求があった場合は直ちに提示しなければならない。

第4条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間

- 1 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。
 - ①契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - ②工事の全部の施工を一時中止している期間
 - ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって工場製作のみが行われる期間
 - ④上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間

2 前項の期間を確認する必要がある場合は、書面によることとする。

第5条 過積載防止対策

道路交通法及び道路法を遵守するとともに、過積載防止対策を記載した施工計画書を提出するものとする。

第6条 市内業者優先発注等について

本工事に使用する必要な工事資材、建設機械等を購入又は借入する場合は、できる限り市内業者を活用するよう努めるものとする。

第7条 下請け関係の適正化

本工事の一部を下請けさせる場合は、「下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底について（国土交通省土地・建設産業局長通達）令和元年8月」を遵守すること。また、下請け業者に発注する場合は、市内企業振興の観点からできる限り市内業者を選定すること。

第8条 工事材料の検査

本工事に使用する主要な材料については、監督員の検査を受けてから使用するものとする。（検査対象材料については、別途指示とする。）

第9条 施工機械

1 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（建設大臣官房技術審議官通達）平成14年4月改訂」に基づき国土交通省で指定された建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。

機 械	備 考
・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式）	ディーゼルエンジン (エンジン出力7.5kw以上260kw以下)

<ul style="list-style-type: none"> ・ブルドーザー ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット類 <p>以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの。</p> <p>：油圧ハンマ・パイプロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機</p> <p>アースオーガ・オールケーシング掘削機</p> <p>リバースサーキュレーションドリル・アースドリル</p> <p>地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローラ類 <p>：ロードローラー・タイヤローラー・振動ローラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラフテレーンクレーン 	<p>を搭載した建設機械を対象とする。</p>
--	-------------------------

2 排出ガス対策型建設機械を使用する場合は、施工計画書「（４）指定機械」の中で、①機種、②メーカー名、③型式、④台数等を記載するものとする。また、「指定ラベル」が確認できる工事写真を提出するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械をやむを得ず使用できない場合は、設計変更の対象とする。ただし、機械損料に差額のない機種についてはこの限りではない。

第10条 公害対策

残土の搬出等に伴う公道等の汚損については、受注者において清掃補修等を実施し、公害防止に努めるものとする。

第11条 安全対策

工事の施工にあたっては、交通誘導警備員2名配置し、一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工するものとする。

なお、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合は、別途協議により変更する。

第12条 個人情報取扱特記事項

受注者は、工事を施工するために個人情報を取り扱うに当たっては、共通仕様書1-1-48に基づき適正に行わなければならない。

第13条 暴力団関係者から不当な介入を受けた場合の措置

受注者は、本工事を施工するに当り、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。

また、下請け業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には、速やかにその旨を報告するよう指導し、下請け業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。

第14条 ワンデーレスポンスの実施について

- 1 この工事では、「基本的にその日のうちに速やかに回答する」「現場を待たせない」等、現場の問題発生に対する迅速な対応（＝ワンデーレスポンス）の実施により、問題解決の迅速化を図ることとする。ただし、その日のうちに回答が困難な場合は、受注者と発注者が協議のうえ、回答予定日を回答するものとする。
- 2 受注者は、作業間の関連や工事の進捗状況等を把握し、綿密な工程管理に努めるものとする。
- 3 受注者は、工事施工中において協議事項が発生した場合、作業内容や工程及び発生原因等を整理のうえ、速やかに監督員と協議するものとする。

第15条 その他

本仕様書に記載のない事項及び本仕様書に疑義等が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

工 事 名	市道住吉7号線薄層カラー舗装工事
工 事 費	金 円也
摘 要 欄	<p>工事概要</p> <p>施工延長 L=150m</p> <p>薄層カラー舗装（樹脂系滑り止め舗装・緑色） A= 173 m²</p> <p>区画線工（熔融式 ゼブラ W=45cm、t=1.5mm） L= 17 m</p>

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	0001 魚津市 全体設計書 当初 0		
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 05 魚津地区 0-03.05.15(0)		
諸経費体系	1 公共		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	40 12 道路維持 01 割増なし 02 臨時低圧電力 11 一般交通影響有り(2) 01 補正なし 00 通常 03 補正なし 00 計上しない 00 計上しない 10		

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
道路維持									Y1801	
舗装工									Y280113	
薄層カー舗装工									Y38011306	
薄層カー舗装									Y4801130604	
樹脂系すべり止め舗装工 車道 RPN-301 緑色	173			式					SS192 0 A=9, B=1, C=1, D=1, E=2, F=1, G=2, H=2	
区画線工				m2					施工 第0-0001号表	
区画線工									Y260211	
区画線工									Y36020601	
溶融式区画線									Y4602060101	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
区画線工（溶融式・手動） ゼブラ 45cm									SS002 0 A=1, B=3, C=4, D=1, E=1, G=1, H=2, I=1, J=1	
	17			m					施工 第0-0002号表	
仮設工									Y280111	
交通管理工									Y38011125	
交通誘導警備員									Y4801112501	
				式						
交通誘導警備員									S7192 0 A=0, B=2, C=1	
	1			式					施工 第0-0003号表	
直接工事費										
共通仮設費 (率分)										
				式						
共通仮設費計										
純工事費										

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費					
現場管理費計		式			
工事原価					
一般管理費等					
工事価格		式			
消費税等相当額					
請負対象工事費		式			
工事価格計					
消費税等相当額計					

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
請負対象工事費計											

施工内訳表

[名称] 樹脂系すべり止め舗装工 [規格1] 車道 RPN-301		[規格2]				1	m2	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
樹脂系すべり止め舗装工 車道 RPN-301	1.00	m2			TS509			
単位当り	1	m2						
A=9 車道 RPN-301 C=1 時間制約補正なし E=2 既設アスファルト舗装面の施工 G=2 トップコート 有	有		B=1 100m2以上 D=1 標準(昼間) F=1 コンクリート舗装面の施工 H=2 1.0m以下		無			

施工内訳表

[名称] 区画線工 (溶融式・手動)		[規格1] ゼブラ 45cm		[規格2]		1000	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
区画線設置[溶融式][供用区間] ゼブラ45cm 時間制約無 昼間	1,000.00	m			TL434			
路面標示用塗料 白色 溶融型 JIS K5665 3種1号	1,700.00	kg			T3704			
ガラスビーズ JISR 3301 1号	75.00	kg			T3691			
プライマー 接着用	75.00	kg			T3692			
軽油 (パトロール)		L			T3002			
諸雑費		%			#01			
合計	1,000	m						
単位当り	1	m						
A=1 全ての費用 C=4 45cm E=1 標準 (昼間)			B=3 ゼブラ D=1 時間制約無し G=1 白色					
H=2 ペイント厚1.5mm J=1 供用区間			I=1 排水性舗装以外					

S7192

施工内訳表

施工 第0-0003号表

頁0-0008

[名称] 交通誘導警備員 [規格1]		[規格2]				1	式	当り			
名称・規格など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
交通誘導警備員B					人					R2053	
単位当り		1			式						
A=0 C=1	交通誘導警備員A 配置人員 (人) 必要日数 (日)					B=2		交通誘導警備員B 配置人員 (人)			

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	R2053	37			交通誘導警備員B	その他労務
2	T3002	66			軽油	軽油
3	T3691	61		1.275	ガラスビーズ	区画線材料
4	T3692	61		1.275	プライマー	区画線材料
5	TL434	200		17	区画線設置[熔融式][供用区間]	
6	TS509	200		173	樹脂系すべり止め舗装工	
7	WXXXX	966				

交通誘導警備員数量計算書

施工内容	規格	単位	設計数量	日当たり 施工量	所要日数	交通誘導警備員の配置		備考
						日当たり配置 人数	延べ配置人 数	
樹脂系すべり止め舗装	RPN-301	m2	173.0		日	人	人	
区画線工	W=45cm	m	17.0		日	日	日	
計					日	人	人	
合 計				A	日	人	人	
				B	日	人	人	